

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表 令和 7 年 2月13日

事業所名 こどもらぶきんぐ（一職員）

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を指摘された改善内容又は改善目標 |
|--|--|----|-----|--|---|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 7 | | 運動遊びでは、体育着を着用する場合があります。 | 適切なスペースで活動に合わせて、室内外での活動を行っています。 |
| | 2 職員の配置数は適切である | 7 | | | 適切に配置の中で業務分担ができて業務効率に繋がっています。 |
| | 3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | 7 | | 視覚情報（SST）を取り入れた支援に取り組んでいます。 | 日頃から、階段の昇降の際は安全面や手すり等には気を配りながら声かけを行い対応しております。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境に固まっている | 7 | | | 安全衛生面、環境整備に努めています。また、清潔に保つて室内での活動に取り組んでいます。 |
| 業務改善 | 5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広げ職員が参加している | 7 | | | 業務開始前、終了時にミーティングを行っています。定期的に職員会議を開催しています。 |
| | 6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 7 | | | ホームページに掲載し保護者様の意向等を把握し業務改善に繋げるよう心がけています。 |
| | 7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果に基づき支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 7 | | | 年に1回ホームページにて公開しています。保護者様の評価表を踏まえて職員へ周知し支援の質、改善等公開しております。 |
| | 8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 7 | | | 第三者による外部評価を位置しており業務改善に繋がっています。 |
| | 9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 7 | | | 職員の資質向上を図る為に研修機会を確保しています。 |
| | 10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | 7 | | | 日頃から、保護者様及び関係機関から情報を収集し計画を作成しています。 |
| | 11 子どもの適応行動の状況を踏まえて、標準化したアセスメントツールを使用している | 7 | | | 研修での講師より助言や、専門的な情報を収集し計画を作成しています。 |
| | 12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の発達支援（本人支援及び移行支援）、「保護者支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な支援内容を選択し、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 7 | | | 発達支援を主とし、個々のニーズに合わせて丁寧な声かけに取り組んでいます。「地域支援」に関する情報や、活動環境と積極的に取り組んでいます。保護者様からの悩みなど、電話や事業での面談を行っています。 |
| | 13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | 7 | | | 個々の支援計画に沿って取り組んでいます。 |
| 14 活動プログラムの立案をチームで行っている | 7 | | | チームでプログラムの立案を行っています。 | |
| 15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 7 | | | 年齢に応じたプログラムや、固定化しないよう職員が柔軟に活動内容の工夫を行っています。 | |
| 16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している | 7 | | | 小集団活動を主とし、個別での課題に丁寧に取り組んでいます。 | |
| 17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割が明瞭になっている | 7 | | | 支援開始前には、職員で必ず打合せをし、支援の役割分担をおこなっています。 | |
| 18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、実行した内容を共有している | 7 | | | 支援終了後には、必ず職員間での振り返り支援内容の振り返りを行い気づきや改善など共有を行っています。 | |
| 19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 7 | | | 日々の支援に関して記録を徹底し記録の内容も次の支援に活かせるよう心がけています。 | |
| 20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しを必要と判断している | 7 | | | 定期的なモニタリングを行い、支援計画の更新を行います。 | |
| 21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している | 7 | | | 職員の見解をまとめて、相談支援事業所のサービス担当者会議に参加しています。 | |
| 22 母子保護や子ども、子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | 7 | | | 今後母子保護など、機会があれば連携していきたいと思っております。 | |
| 23 医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合、地域の保健、医療、障害福祉、教育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | 7 | | | 該当なし | |
| 24 医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合、子どもの主治医や協力医療機関と連絡体制を整えている | 7 | | | 該当なし | |
| 25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚園）等との間で、支援内容等の情報共有と相互連携を図っている | 7 | | | 会議などで、支援内容など情報共有を行い連携への取り組みや相互連携を図っています。 | |
| 26 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学校）との間で、支援内容等の情報共有と相互連携を図っている | 7 | | | 支援学校などとの連携も、その目的やニーズに応じて実施しています。支援内容の情報共有を行っています。 | |
| 27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や情報を受け取っている | 7 | | | 研修内容を相談しながら、オンライン研修、外部研修に参加しています。今後専門機関との連携を検討しております。 | |
| 28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のある子どもと活動する機会を確保している | 7 | | | 近隣の認定こども園との交流の機会を確保しています。 | |
| 29 「自立支援」協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している | 7 | | | 近隣の協議会へ積極的に参加するよう心がけています。 | |
| 30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 7 | | | 日頃から、利用者の状況など、連絡やグループなどで共有しています。定期的にモニタリングや情報共有の機会を持つております。 | |
| 31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して保護者支援プログラム（ペアレントトレーニング等）の支援を行っている | 7 | | | 対応の向上を図る観点から保護者様に対してはペアレントトレーニングなどを実施し業務に活かすようにしております。 | |
| 32 運営経費、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 7 | | | サービス料等丁寧に説明させて頂き、不明な点に際しても丁寧な説明に努めています。 | |
| 33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援のわがい及び支援内容」と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を踏まえながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | 7 | | | 保護者様からのアセスメントを元に発達段階に合わせて、支援計画を作成し保護者様へ支援内容の説明を行っています。 | |
| 34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 7 | | | 定期的なモニタリングや、保護者様からの悩み等、相談や事業所にて個別に一緒に取り組むなどの対応を心がけています。 | |
| 35 父母の命の活動を支援し、保護者等をサポートする等により、保護者同士の連携を支援している | 7 | | | 昨年は、親子レクを開催しました。今回はゆんぐり会を予定しております。 | |
| 36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | 7 | | | 連絡や、グループLINE等で相談がある場合は電話や、直接にお話しを聞き課題について助言や、取り組みについて対応させて頂いております。 | |
| 37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 7 | | | 利用予定表を通して活動や行事予定の情報を発信しています。 | |
| 38 個人情報の取扱いに十分注意している | 7 | | | 全職員個人情報の取扱いに周知しています。 | |
| 39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 7 | | | 活動のルールを文字や絵で掲示し理解を促して行っております。 | |
| 40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 7 | | | 事業所の行事ではないが、他事業所からイベントへの参加や協賛の依頼の機会を発生へ参加した。 | |
| 41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | 7 | | | マニュアルを職員間で周知しております。発生を想定した訓練を実施していきます。 | |
| 42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 7 | | | 火災訓練などに取り組んでいます。今後も継続して取り組んでいます。 | |
| 43 事前に、災害や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を把握している | 7 | | | 見学の際にこれまでの発症履歴を聞き取りを行っています。 | |
| 44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされている | 7 | | | 視覚的に確認できる指示書に周知しています。 | |
| 45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 7 | | | 利用開始前に保護者様へ確認しごまかに情報共有を図っています。 | |
| 46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 7 | | | ヒヤリハット事例を日頃から、職員と共有して振り返りを行い対策を考えています。 | |
| 47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | 7 | | | 定期的な研修で支援のあり方を共有しています。 | |

〇この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。